




「企業力」向上へ 社外取締役

中国地方の上場企業 導入広がる

透明性を確保 会社法改正が背景

中国地方の上場企業に社外取締役の導入が広がっている。就任する人は航空会社の元女性支店長や他社の経営者、団体の代表などさまざま。新たな視点での声を取り入れ、経営の透明性を高めるのが狙い。社外取締役を重視する会社法の改正や、東京証券取引所の要請が背景にある。

(山瀬隆弘)

中国地方の上場企業が新たに選任する 主な社外取締役候補者	エディオン (広島市中区)	 石橋省三氏 (石橋湛山記念財団理事長、学校法人栗本学園理事)リーマン・ブラザーズ証券マネージング・ディレクターの経験も。企業経営や金融での経験、知見に期待
	アシードホールディングス (福山市)	 小林宏明氏 (日東製網社長)福山市に福山本社と工場を構える企業のトップ。地場経済に通じ、38歳の若い視点からの発言に期待
	鳥取銀行 (鳥取市)	 山脇彰子氏 (元全日本空輸横浜支店長)鳥取市出身。全日空初の女性支店長。女性の視点の経営への反映や接遇向上への指摘を期待
	サンマルクホールディングス(岡山市北区)	中川雅文氏(公認会計士)
	東ソー(周南市)	村田博人氏(元太平洋セメント取締役専務執行役員)
	鳥根銀行(松江市)	上野豊明氏(元中国財務局呉出張所長、元中国労働金庫常勤監事)
	中国銀行(岡山市北区)	佐藤芳郎氏(公認会計士)
コンセック(広島市西区)	藤原光広氏(元広島国税局徴収部長)	

24日から本格化する3月期決算企業の株主総会で、社外取締役の選任議案が相次ぐ。家電量販のエディオン(広島市中区)は石橋湛山元首相の孫で、石橋湛山記念財団(東京)理事長などを務める石橋省三氏(64)の就任を提案する。同社の社外取締役は、同業のビックカメラ(東京)の社長が就いていた2009年2月以来。大学を運営する学校法人の理事や証券会社勤務の経験がある石橋氏に「企業経営や金融に長年携わった知見に基づき、職務を遂行してもらえ」と期待する。

自動販売機運営・飲料製造のアシードホールディングス(福山市)は26日の総会で初めて選ぶ。本社近くに住む小林宏明氏を日東製網(東京)の小林宏明社長(38)だ。「コンプライアンス(法令順守)を徹底したい。地場経済に通じ、若いのも魅力」と説明する。鳥取銀行(鳥取市)が7年ぶりの社外取締役として提案するのは、07年に全日本空輸(東京)で初の女性支店長となった注目された山脇彰子氏(62)。経営に女性の視点を反映させるとともに、客室乗務員の経験を全社のマネー向上につなげたい考えだ。大王製紙(東京)の巨額背任事件やオリパス(同)の巨額損失隠し事件を受けて、東証は2月、上場企業に社外取締役を置くよう要請した。今月20日には、社外取締役を置かない場合は株主総会での説明を義務付ける改正会社法も成立。化学メーカーの東ソー(周南市)も「風潮に沿った」と初めて導入する。コンセック(広島市西区)や中国銀行(岡山市北区)、サンマルクホールディングス(同)、鳥根銀行(松江市)も総会で初めて選任を求める。候補者には、公認会計士や元国税局職員ら企業会計に詳しい人材が目立